

Create the Next



# 世界で高まる硅砂需要に対応 自然との共生と地域貢献目指す

三菱商事グループが世界中で取り組む事業とそこで奮闘する社員を紹介するシリーズ。第6回はオーストラリア北部でガラスなどの原料となる硅砂（けいしゃ）を採掘しているケープフラッターリー・シリカ鉱山社（CFSM）にスポットを当てる。三菱商事の100%子会社の社長として赴任から約1年、世界屈指の品質と埋蔵量を誇るCFSMの新たな需要への対応と、地域への貢献に情熱を燃やす中谷太郎の挑戦を取材した。



シリーズ第6回

硅砂採掘事業

鉱山を運営する上で自然環境の保全に努めることも重要な経営テーマだ。「オーストラリアの厳しい環境基準を守るのももちろん、

に情報共有を図っている。

鉱山と、三菱商事の持つ物流・販売ネットワーク。この2つを円滑に機能させることで三菱商事の硅砂事業の強みが最大限に発揮できる。そのためには本社との密な連携が欠かせない。生産現場のトップとしてその橋渡し役を果たすことも重要な任務」と話す中谷。本社はテレビ電話会議や出張を通じて、常日ごろからインタラクティブに情報共有を図っている。



ケアンズのオフィスでスタッフと打ち合わせ

さらに、中谷が情熱を傾けているのが地域との共生。先住民を従業員として積極的に雇用しているほか、地域への寄付や職業訓練の費用をサポートするといった地道

な活動にも余念がない。「この地域は、主だった産業がない。事業の発展を通じて、地域の発展に貢献したい」と常に語る。その言葉には、硅砂が生み出す様々な製品を通じて世界の一人ひとりの生活の質向上につなげたいという思いが込められている。

## 取材を終えて

降りやまないスコールの合間を見て小型機でケアンズを飛び立ち約1時間、ケープフラッターリーへ。頻りに行きてくる中谷さんと現場で働く人たちはファーストネームで呼び合う仲だ。採掘現場こそ硅砂の白と青空の対比が印象的だが、周囲は緑地が広がり環境への配慮を実感する。ここから世界に送られる高品質な硅砂は生活に欠かせない多彩な製品に変わる。棧橋へ続く長いコンベヤーの先に多くの笑顔が見える気がした。

## 高純度の品質と豊富な埋蔵量 世界に誇る硅砂の安定供給拠点に



岬の棧橋を起点に最大需要先のアジアへ

着任以来、ケアンズのオフィスと鉱山の現場を飛行機で行き来しながら多忙な毎日を送る中谷。自身を「なんでも屋」と呼ぶように、社長としてこなすべき業務は多い。中でも注力しているのは、長期生産計画の策定だ。長期的な増産に向けた採

掘計画を策定し、環境許可の取得や生産効率化につながる設備投資を先行してきた。もう一つが人員体制の整備。特に従業員にモチベーションを高めようための意識改革に取り組んだ。社員への意識調査で現場の意見がなかなか聞き入れられないというコメントを見つけたら、現場の意見を吸い上げるような改善策を考え、直ちに実行に移した。

赴任後すぐにこうした迅速な対応ができたのは、他の出資企業にない三菱商事が100%出資している鉱山会社であることも大きい。「自分たちの創意工夫で会社を主体的にリードできる。責任が重い分、やりがいを感じる」と中谷は目を輝かす。



この砂が世界の人々の生活を豊かにする